

# 第5学年国語科学習指導案

5年1組 29名

## 1 単元名 「グラフや表を用いて書こう」～理由づけを明確にして説明しよう～

### 2 単元の目標

- 情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
- ◎目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、引用したり図表やグラフを用いたりするなど書き方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くことができる。

### 3 観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○文の中での語句の関わり方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 ○意見に説得力をもたせるために必要な資料を用意したり、見つけたりしている。	○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	○意見に説得力をもたせるとき、グラフや表の有効性に気づき、自分の考えが伝わるように、図や表を用いて意見文を書こうとしている。

### 4 単元について

本単元は、グラフや表を用いて自分の考えを裏付けながら、意見を述べる文章を書くことが学習の中心である。そこで他教科との関連や高学年の特性を考え、自分の身の回りのことだけでなく、社会問題の1つである環境に目を向けて提案書にまとめる活動を設定した。児童は、既習単元「明日をつくるわたしたち」で、提案書の書き方を学び、既習単元「天気を予想する」では、図表やグラフ、写真を用いて自分の考えに説得力をもたせる説明の仕方を学んだ。本単元では、これらを活かして説得力のある提案書を書くことに取り組ませたい。

グラフや表は、客観性と可視性の点で説得力を発揮するが、それだけでは効果を発揮しにくい。「そのデータから何を読み取ることができるのか。」「何を位置付けることができるのか。」自分の考えを裏付ける資料となりえるのかなど、データの解釈が必要となる。取材の段階では、自分で収集した資料や引用するグラフ、表の解釈・吟味を大切にしたい。記述の段階においては、教科書P152「グラフや表を説明するとき」に示されているような引用の基本的技術を習得するとともに、グラフや表の分かりやすい説明を行うことによって、自分の考えの根拠となることを学習する。また、推敲、交流の場では、引用されている表やグラフが、書き手の考えを裏付けていたかについて、意見や感想を交流させたい。

### 5 研究主題に迫るための手だて

#### (1) 意欲を高める

- 環境問題を自身の問題として捉えることができるようにするために、興味・関心を引きそうな、国連気候行動サミットにおける環境活動家グレタさん（16歳）のスピーチを導入で取り扱う。また、相手意識をもって提案書を書くことができるように、学習計画の段階で、完成した提案書を新聞社に投稿するという目的がもてるようにする。

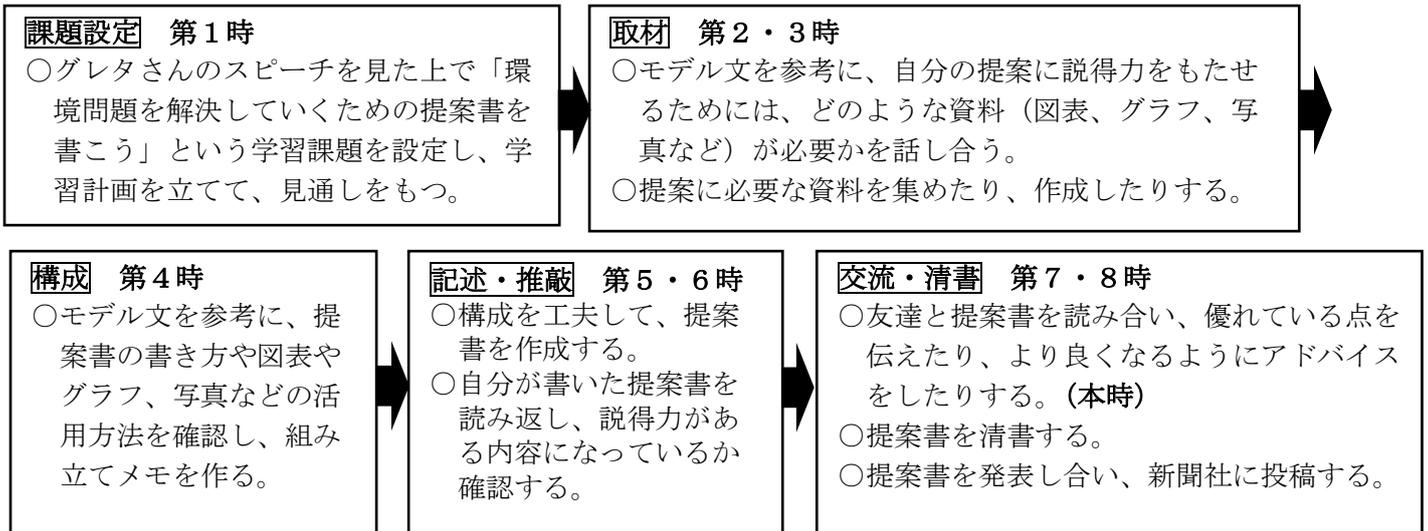
#### (2) 思考を深める

- 環境問題に対する自分の考えを確実にもてるようにするために、環境問題のテーマを『温暖化』『ごみ問題』『エネルギー資源』の3つに絞り、資料の提示方法を工夫する。
- 見通しをもって活動できるようにするために、構成の段階で提案書の書き方の視点を提示する。
- 推敲の段階で話し合い活動を活発にするために、説得力のある提案書の視点を明示する。

#### (3) 知識・技能の習得

- 説得力のある提案書の書き方を学べるようにするために、複数のモデル文を提示して、図表やグラフ、写真などの活用方法について指導する。

## 6 指導計画



## 7 本時について（7/8）

### (1) 本時の目標

説得力のある提案書の書き方や資料の活用の仕方を見付け、友達に伝えたり、まとめたりすることができる。

### (2) 本時の展開

○学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価 ◎研究主題に迫るための手だて
○前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     友達の提案書で説得力のある点を見つけ、他の友達に発表しよう。                 </div>	
○学習班（4人1組）で提案書を読み合い、説得力のある点を伝えたり、アドバイスしたりする。	◎説得力のある提案書の視点を明示する。（思考を深めるための手だて） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>★説得力のある提案書★</b></p> <p>①共感できる。</p> <p>②実現可能である。</p> <p>③効果がわかる。</p> </div>
○他の班の友達の提案書を読み、説得力のある点を伝えたり、アドバイスしたりする。 ・自分の提案書を机の上に置き、自由に立ち回って他の班の友達の提案書を読む。	◇後で見返すことができるように、付箋で伝えたり、赤ペンでコメントを書き入れたりできるようにする。  ☆友達の提案書で説得力のある点を見付け、付箋や赤ペンを活用して伝えている。
○学習班ごとに集まり、説得力があると感じた提案書を発表し合い、「ううむ大賞」を1つ決定する。	◇真剣に読み合いをするために、『「ううむ。」大賞』（「ううむ。」と感嘆の声をもらってしまった友達の提案書を紹介し、説得力のある表現や書き方、資料の活用の仕方を共有する）を考えながら読み合えるようにする。
○グループごとに「ううむ。」大賞を発表し、どのような表現や書き方、資料の活用の仕方に説得力を感じたのか説明する。 ○説得力のある表現や書き方、資料の活用の仕方を全体で共有する。	☆友達の提案書で説得力のある点を見つけ、他の友達に発表している。

# 第5学年国語科学習指導案

5年2組 28名

## 1 単元名 「グラフや表を用いて書こう」～理由づけを明確にして説明しよう～

### 2 単元の目標

- 情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
- ◎目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、引用したり図表やグラフを用いたりするなど書き方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くことができる。

### 3 観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○文の中での語句の関わり方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 ○意見に説得力をもたせるために必要な資料を用意したり、見つけたりしている。	○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	○意見に説得力をもたせるときの、グラフや表の有効性に気付き、自分の考えが伝わるように、図や表を用いて意見文を書こうとしている。

### 4 単元について

本単元は、グラフや表を用いて自分の考えを裏付けながら、意見を述べる文章を書くことが学習の中心である。そこで他教科との関連や高学年の特性を考え、自分の身の回りのことだけでなく、社会問題の1つである環境に目を向けて提案書にまとめる活動を設定した。児童は、既習単元「明日をつくるわたしたち」で、提案書の書き方を学び、既習単元「天気を予想する」では、図表やグラフ、写真を用いて自分の考えに説得力をもたせる説明の仕方を学んだ。本単元では、これらを活かして説得力のある提案書を書くことに取り組ませたい。

グラフや表は、客観性と可視性の点で説得力を発揮するが、それだけでは効果を発揮しにくい。「そのデータから何を読み取ることができるのか。」「何を位置付けることができるのか。」自分の考えを裏付ける資料となりえるのかなど、データの解釈が必要となる。取材の段階では、自分で収集した資料や引用するグラフ、表の解釈・吟味を大切にしたい。記述の段階においては、教科書P152「グラフや表を説明するとき」に示されているような引用の基本的技術を習得するとともに、グラフや表の分かりやすい説明を行うことによって、自分の考えの根拠となることを学習する。また、推敲、交流の場では、引用されている表やグラフが、書き手の考えを裏付けていたかについて、意見や感想を交流させたい。

### 5 研究主題に迫るための手だて

#### (1) 意欲を高める

- 環境問題を自身の問題として捉えることができるようにするために、興味・関心を引きそうな、国連気候行動サミットにおける環境活動家グレタさん（16歳）のスピーチを導入で取り扱う。また、相手意識をもって提案書を書くことができるように、学習計画の段階で、完成した提案書を新聞社に投稿するという目的がもてるようにする。

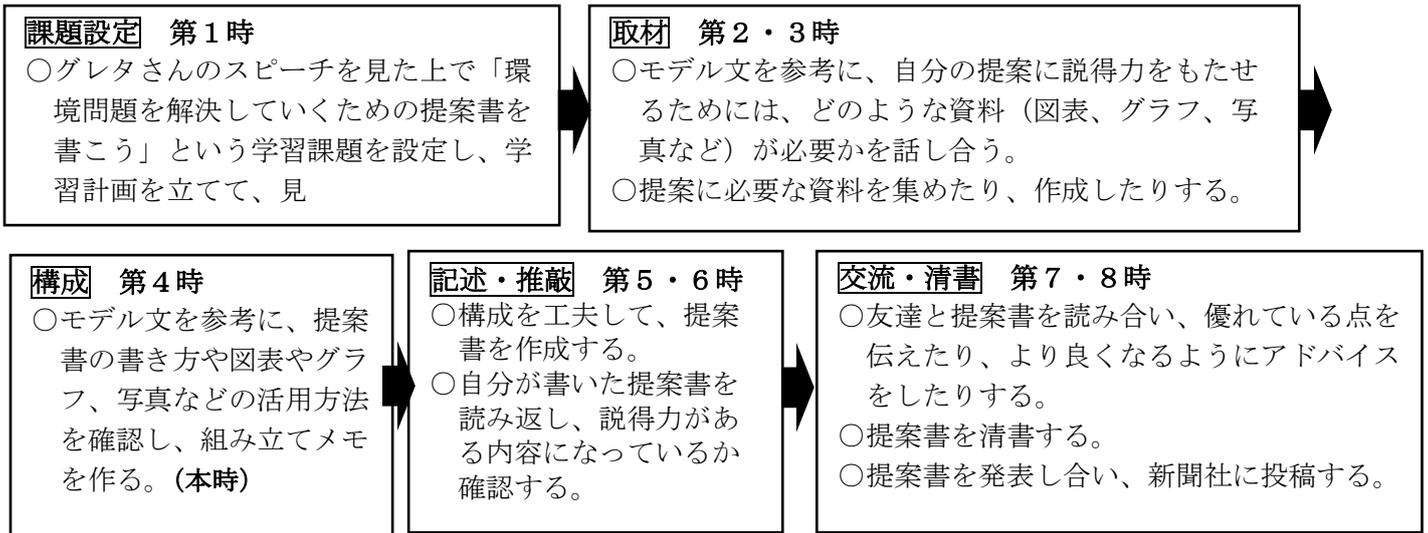
#### (2) 思考を深める

- 環境問題に対する自分の考えを確実にもてるようにするために、環境問題のテーマを『温暖化』『ごみ問題』『エネルギー資源』の3つに絞り、資料の提示方法を工夫する。
- 見通しをもって活動できるようにするために、構成の段階で提案書の書き方の視点を提示する。
- 推敲の段階で話し合い活動を活発にするために、説得力のある提案書の視点を明示する。

#### (3) 知識・技能の習得

- 説得力のある提案書の書き方を学べるようにするために、複数のモデル文を提示して、図表やグラフ、写真などの活用方法について指導する。

## 6 指導計画



## 7 本時について（4／8）

### （1）本時の目標

自分の提案に説得力をもたせるために、適切な資料を使って文章の組み立てを考えることができる。

### （2）本時の展開

○学習活動	◇指導上の留意点 ☆評価 ◎研究主題に迫るための手だて
○学習計画を見て、本時のめあてを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分の提案に説得力をもたせるために、組み立てメモを作ろう。</div>	
○資料を用いた文章の効果を考える。  ○自分の意見に合った資料(図や表)を決め、付箋を使って構成を考える。	◎説得力のある提案書の書き方を学べるようにするために、複数のモデル文を提示して、図表やグラフ、写真などの活用方法について指導する。(知識・技能の習得のための手だて) ◇テーマに合わせ、活用しやすい資料を用意しておく。 ◇資料から読み取った内容や、自分の考えを付箋に書くよう助言する。
<p>～構成～</p> <p>①提案の見出し</p> <p>②提案のきっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きっかけとなった経験</li> <li>・現状や問題点など</li> </ul> <p>③提案（複数ある場合は提案ごとにまとまりを分ける。）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 簡潔に内容を示す。</li> <li>2. 内容を具体的に詳しく示す。</li> <li>3. 提案が実現した時の効果を示す。</li> </ol> <p>④まとめ</p>	<p>☆自分の提案（考え）に説得力をもたせるために、適切な資料を使って文章の組み立てを考えている。</p> <p>☆根拠となる事実と自分の考えを分けて書いたり、資料と関連付けて書いたりしている。</p>
○完成した組み立てメモをもとに、工夫したことやうまくできたことを発表し合い、学習の振り返りをする。	

